



# 混声合唱団コール・ミレニアム

## 第20回 記念定期演奏会

Chor Millennium  
20th Anniversary

### J.ブラームス J. Brahms

# ドイツ・レクイエム

## Ein Deutsches Requiem Op.45

### J.シベリウス 交響詩「フィンランディア」 Symphonic poem 'Finlandia'

### O.レスピーギ 交響的印象「教会のステンドグラス」 impressioni sinfoniche 'Vetrata di chiesa'

～今こそ全世界に届けたい。この祈りを～

指揮 井崎 正浩  
独唱 ソプラノ 森谷 真理  
バリトン 大沼 徹  
合唱 混声合唱団コール・ミレニアム  
管弦楽 アウローラ管弦楽団  
合唱指導 奥村 泰憲 泉 智之  
田中 豊輝 高山 美佳  
ピアノ 加藤 朋子 和氣 友久 早川 枝里子



指揮 井崎 正浩



ソプラノ 森谷 真理



バリトン 大沼 徹

# 2024年3月23日(土)

13時00分 開場  
14時00分 開演

## 東京芸術劇場 コンサートホール

(池袋駅西口より徒歩2分。駅地下通路2b出口と直結)

SS席 3,500 S席 3,000 A席 2,500

チケットお問合せ

・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> チケットぴあ 興行名 コール・ミレニアム 検索 Pコード 257-391

※ひあまでご購入は、ぴあサイトまたはセブンイレブン店頭でも可能です。

・東京芸術劇場ボックスオフィス0570-010-296(ナビダイヤル/休館日を除く10:00~19:00) <https://www.geigeki.jp/t/>

・コール・ミレニアム 080-3702-2017







## 井崎 正浩

現在ハンガリーを拠点にヨーロッパ、日本各地で活躍を続ける指揮者。2007年よりハンガリー・ソルノク市の音楽総監督を務め、同市の音楽・文化団体を総括する重責を担い、現在までハンガリーでポスト活躍する唯一の外国人指揮者として、その実力を評価されるとともに高い人気を誇っている。同時にこれまで『N ewsw eek』誌や『音楽の友』誌において海外で活躍する日本人として掲載される栄誉を得ており、最近ではロシア・ナショナル管、ベルリン響、デュッセルドルフ響等への客演も行い国際的な展開を行っている。

1995年第8回ブダペスト国際指揮者コンクールで優勝。コンクール中の演奏を国立オペレッタ劇場総裁に認められ、同年同劇場でレハール作曲《メリー・ウィドウ》を指揮しセンセーショナルなデビューを飾る。これまでハンガリーの主要オーケストラ及び国立歌劇場に次々と客演してその名を確立し、ソルノク市からは文化功労賞「カボシヴァーリ・ジュラ賞」を、ハンガリー政府より大統領名での「金十字功労勲章」（民間人に与えられる最高栄誉）を授与されている。こうした活動や国際交流での活躍を評価され、2020年には「令和2年外務大臣表彰」を、2022年にはハンガリーにおける文化・芸術・工芸・スポーツ等に最も功績ある人物に対する「プリマ賞」を授与され、名実共にその活動が広く知られている。日本では1996年1月、東京シティ・フィルのニューイヤー・コンサートでのデビューを皮切りに、読売日響、日本フィル、東京フィル、東響、九響、名フィル、セントラル愛知響等の主要オーケストラに次々と連続客演して定評を得、その手腕を高く評価されている。<http://www.izakimasahiro.com/>  
[http://www.concert.co.jp/artist/masahiro\\_izaki/](http://www.concert.co.jp/artist/masahiro_izaki/)

## 森谷 真理 ソプラノ

今最も注目を集めるソプラノの1人。武蔵野音楽大学、同大学院卒業後、ニューヨークのマネス音楽院修了。世界各地のコンクールにて優勝、受賞。欧米ではメトロポリタン歌劇場にて2006年に《魔笛》夜の女王で大成功を取めたのはじめ、リンツ州立劇場の専属歌手を務め、ウィーン・フォルクスオーパーなど多数の歌劇場で活躍。国内では、兵庫県立芸術文化センター《夏の夜の夢》、日生劇場《ランメルモールのルチア》、二期会《蝶々夫人》《サロメ》《ルル》表題役、びわ湖ホールプロデュースオペラ《リゴレット》《魔笛》《ラインの黄金》《ワルキューレ》、《神々の黄昏》、《ローエングリン》、新国立劇場《カルメン》《ぼらの騎士》《蝶々夫人》《ジュリオ・チェザレ》等で絶賛を博す。コンサートレパートリーもバロックから近現代曲と幅広く、近年ではフーランク《人間の声》が新聞各紙で高評され、ヘルク《ヴォツェックより3つの断章》、R. シュトラウス《4つの最後の歌》でも絶賛された。2022年にはザクセン州立歌劇場で《蝶々夫人》を主演し、注目を集めた。2019年には「天皇陛下御即位を祝う国民祭典」にて国歌独唱を務めた。名古屋音楽大学准教授、東京芸術大学講師、洗足学園音楽大学講師。小山評定ふるさと大使。とちぎ未来大使。下総皖一音楽賞受賞。公式ホームページ <https://marimoriya.com/>

## 大沼 徹 バリトン

東海大学教養学部芸術学科卒、同大学院在学中、フンボルト大学で学ぶ。二期会オペラ研修所第51期修了（最優秀賞）。第14回日本モーツァルト音楽コンクール声楽部門第1位。第21回五島記念文化賞オペラ部門新人賞を受賞し、独マイセンに留学。二期会ニューウェーブ・オペラ劇場『ウリッセの帰還』題名役で二期会デビュー。これまでの主な出演は新国立劇場『沈黙』ヴァリニアード、『トスカ』アンジェロツティ、『愛の妙薬』ベルコーレ、『紫苑物語』平太、同劇場鑑賞教室『蝶々夫人』シャープレス、日生劇場『コジ・ファン・トゥッテ』ドン・アルフォンソ、『ランメルモールのルチア』エンリーコ、藤沢市民オペラ『トスカ』スカルピア等があり、東京二期会でも『オテロ』イアーゴ、『サロメ』ヨカナン、『フィデリオ』ドン・ビツァロ、『タンホイザー』ヴォルフラム、『ローエングリン』テルラムント、『フィガロの結婚』伯爵、『魔笛』パバゲーノ等バリトンの主要な役を数多く演じる。コンサートでは『第九』『ドイツ・レクイエム』『カルミナ・ブラーナ』や、『マタイ受難曲』『メサイア』のソリストを務めるほか、ドイツリート、特にシューベルトの三大歌曲集の演奏・解釈に定評がある。東海大学教養学部、国立音楽大学非常勤講師。日本演奏連盟、二期会会員。

## アウローラ管弦楽団

2009年に都内で結成された社会人オーケストラ。年2回の定期公演を活動の軸に、これまでの14年間に29回の定期演奏会、7回の特別演奏会、12回の室内演奏会を開催。取り上げたオーケストラ作品は100曲以上に及ぶ。定期演奏会に於いては、様々な独奏・独唱ソリストとの共演を始め、混声合唱、児童合唱とのコラボレーションなど、多様な演奏会を開催。2020年1月にはプロコフィエフの混声合唱と管弦楽の為の大カンタータ「アレクサンドル・ネフスキー」、2022年5月には児童合唱との共演にて「くるみ割り人形」の全曲上演を果たしている。また結成以来ラフマニノフとチャイコフスキーの交響曲全曲演奏に取り組み、ラフマニノフ・チクルスおよびチャイコフスキー・チクルスをそれぞれ完遂している。現在団員数は約70名。常任指揮者は置かず、選曲に応じて指揮者を選出する（近年では田部井剛、米津俊広、鈴木衛、湯川憲恵など）。「アウローラ」とはギリシア神話に於ける暁の女神のロシア語名であり、転じて「夜明け」を意味する。



## 混声合唱団コール・ミレニアム

2001年ポーランド国立放送交響楽団とモーツァルトのレクイエムを共演したメンバーを中心に2002年に結成。オーケストラを伴う宗教音楽を主に演奏活動を行なっている。これまでに故小松一彦氏、黒岩英臣氏、山下一史氏、北原幸男氏らの指揮、豊富な指導陣とヴォイストレーナーの力も得て実力を伸ばしてきた。井崎正浩氏には2020年のコロナ禍突入時の困難な時期から、的確なご指導と指揮にて今日に至る。これまでにモーツァルト、ヴェルディなどの5大レクイエム、ヘンデル、フーランク、メンデルスゾーン作品の他、ベートヴェン第九も演奏する。海外では2006年スメタナホール 2007年コンサートヘボウ、2009年にウィーン・カールス教会、2011年にはパリ・マドレーヌ寺院、2015年は12月シュテファン大聖堂にてモーツァルト・レクイエム演奏会に出演するなど、画期的で且つ魅力あるプログラムを展開してきた。3年にも及ぶコロナ禍で何度も起こったパンデミック中も、独自の方法、YouTube制作、レクチャーなどたゆまない努力を続け、2021年には音楽現代にも演奏会評とそのことが掲載された。  
<http://millennium.lix.jp/> 制作・お問合せ 混声合唱団コール・ミレニアム 080-3702-2017

## 次回演奏会案内 及び団員募集

2024年7月14日(日) サントリー大ホール フィルハーモニア・ブルスケ主催

G. マーラー：交響曲第2番「復活」依頼演奏会

2024年10月12日(土) ミューザ川崎シンフォニーホール オーケストラ・ゾルキー主催

G. マーラー：交響曲第2番「復活」依頼演奏会

2024年4月から2025年にかけて、コール・ミレニアムの定期演奏会では「コール・ミレニアムモーツァルトツィクルス」と称してW.A. モーツァルト「レクイエム 二短調 K.626」同じく大ミサ曲八短調 K.427を取り上げます。幸運にも演奏の機会をいただいた、今の時期にふさわしい壮大なマーラー「復活」と、王道の古典派、モーツァルトの合唱大作を並行して練習してまいります。演奏会は2024年12月頃から2025年5月頃を予定。私たちと一緒に歌いませんか？ **コールミレニアム 検索**